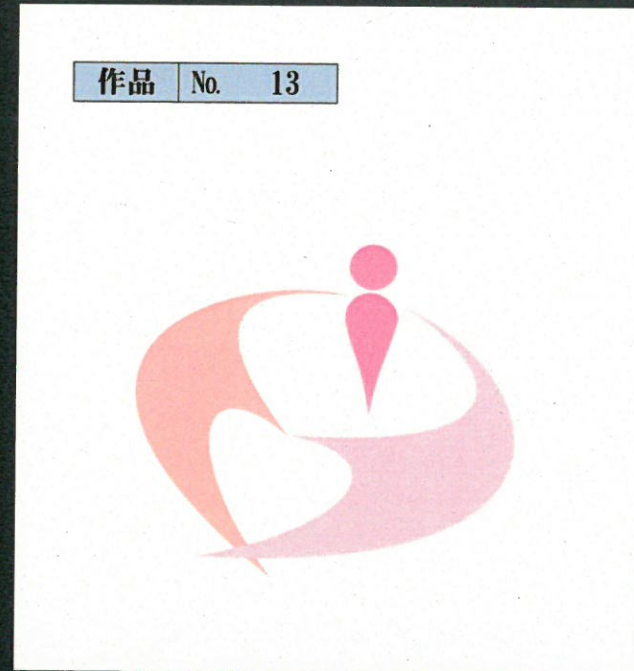




いさわ
岩手県立胆沢病院の
近況と地域連携



【基本理念】



最優秀作品

【合い言葉(スローガン)】

- 誇りを持てる職場
- 人を育てる病院

胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2014年12月 地域医療支援病院認定：
 - 外来予約制開始
- 病院理念の改訂
- 2015年9月から手術支援ロボット「ダビンチ」稼働開始
- 2015年11月から新DSA装置稼働：脳血管内治療開始
- 病院のロゴマーク選定
- 2016年 病院ロゴマーク入りのポロシャツ作成
- 2016年3月 病院機能評価3rdG:ver1.1 受審、合格
- 2016年5月 退院後訪問指導開始



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2017年4月 外来診察室増設→「総合診療科」の看板掲示
- 精神科Dr就任→認知ケアチームへ、腎外来開始
- 8月 無菌室利用開始
- 9月 「物忘れ外来」開始
- 10月 「医科歯科連携」システム強化・始動
- 2018年2月 JCEP(初期臨床研修機能評価)受審、合格



胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2018年4月 8階病棟で抑制・拘束ゼロを達成
- 5月 「呼吸の日」に合わせて初の「病院祭」開催
- ヘリポート完成 5/8にドクヘリ第1号到着
- 奥州スマートインター開通
- 10月 入院支援ブースの運用開始
- 心カテ装置更新・稼働
- 「手洗いポスター」コンクール実施（優勝は外来部門）



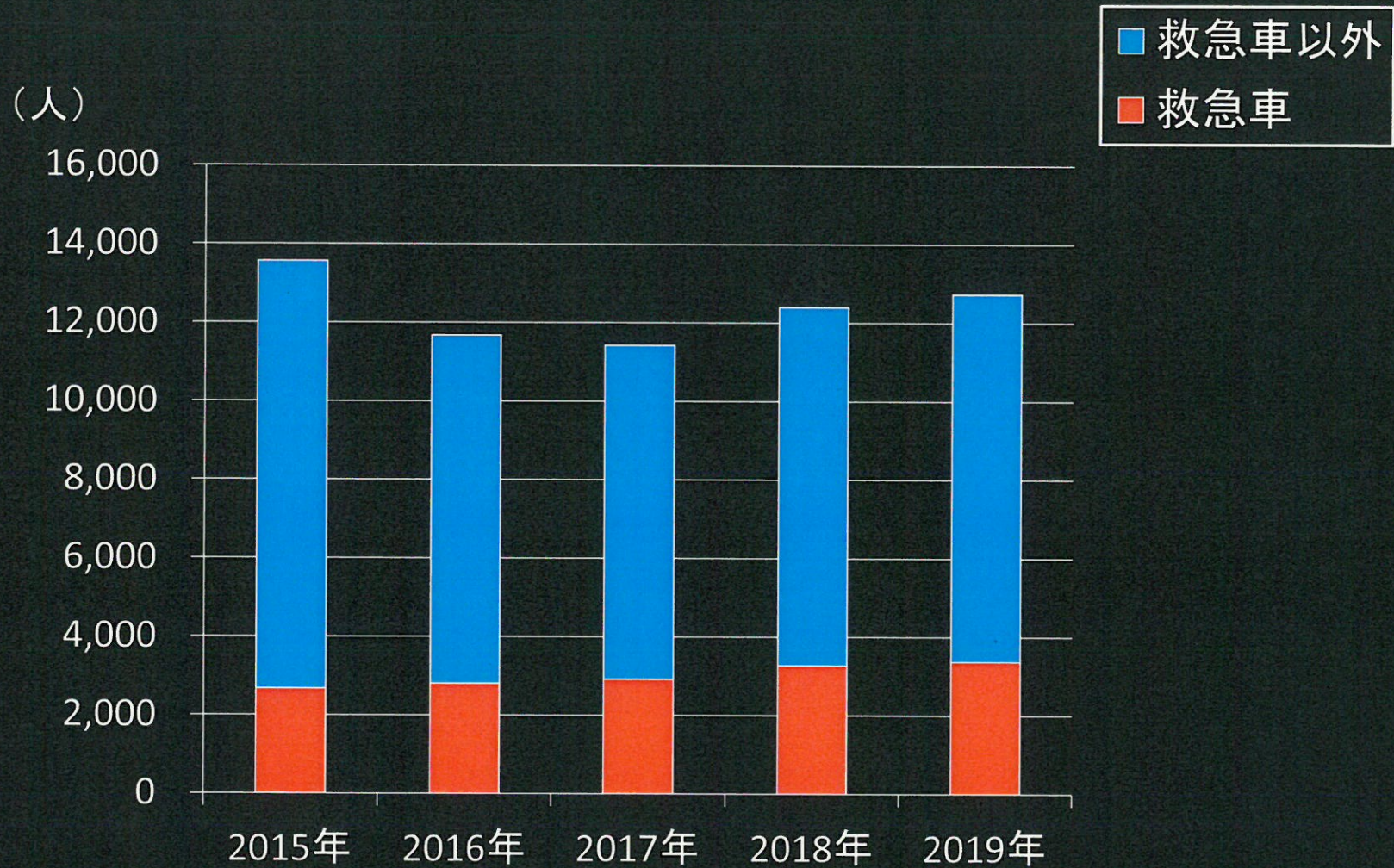
胆沢病院 近年の出来事ダイジェスト

- 2019年4月 吸入指導の薬局との連携開始
- 4月 ICチップによる出退勤管理の試行開始
- 糖尿病専門外来開始(水病の仲地Dr)
 - 当院から水病へ内科医1名転任(国保連奨学生)
 - 衣川診療所、水病消化器科、江刺病院循環器科外来応援
- 6月 AIロボット「パルロ」君の導入決定
- 7月 小児科に長坂先生が就任

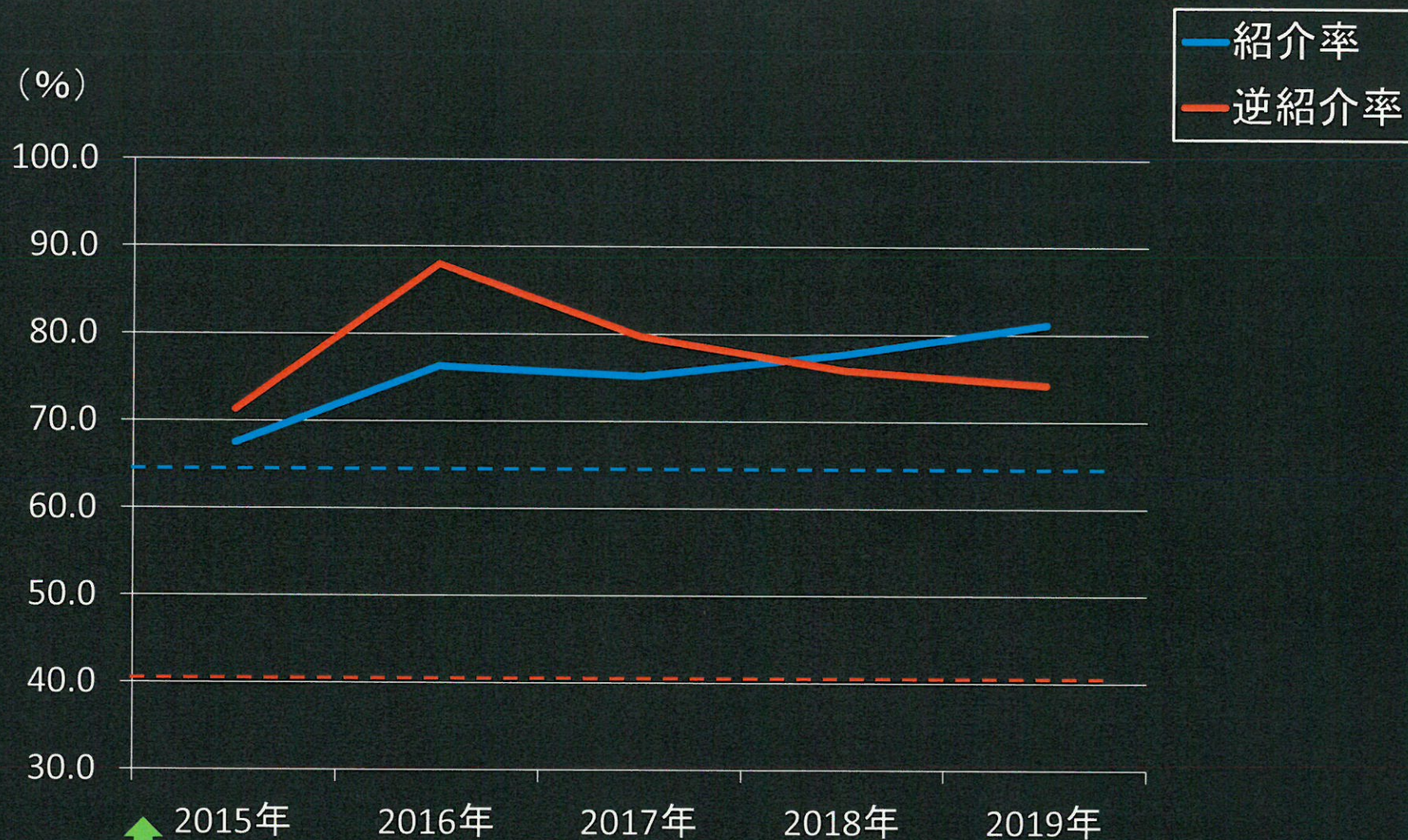




救急患者の状況



地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

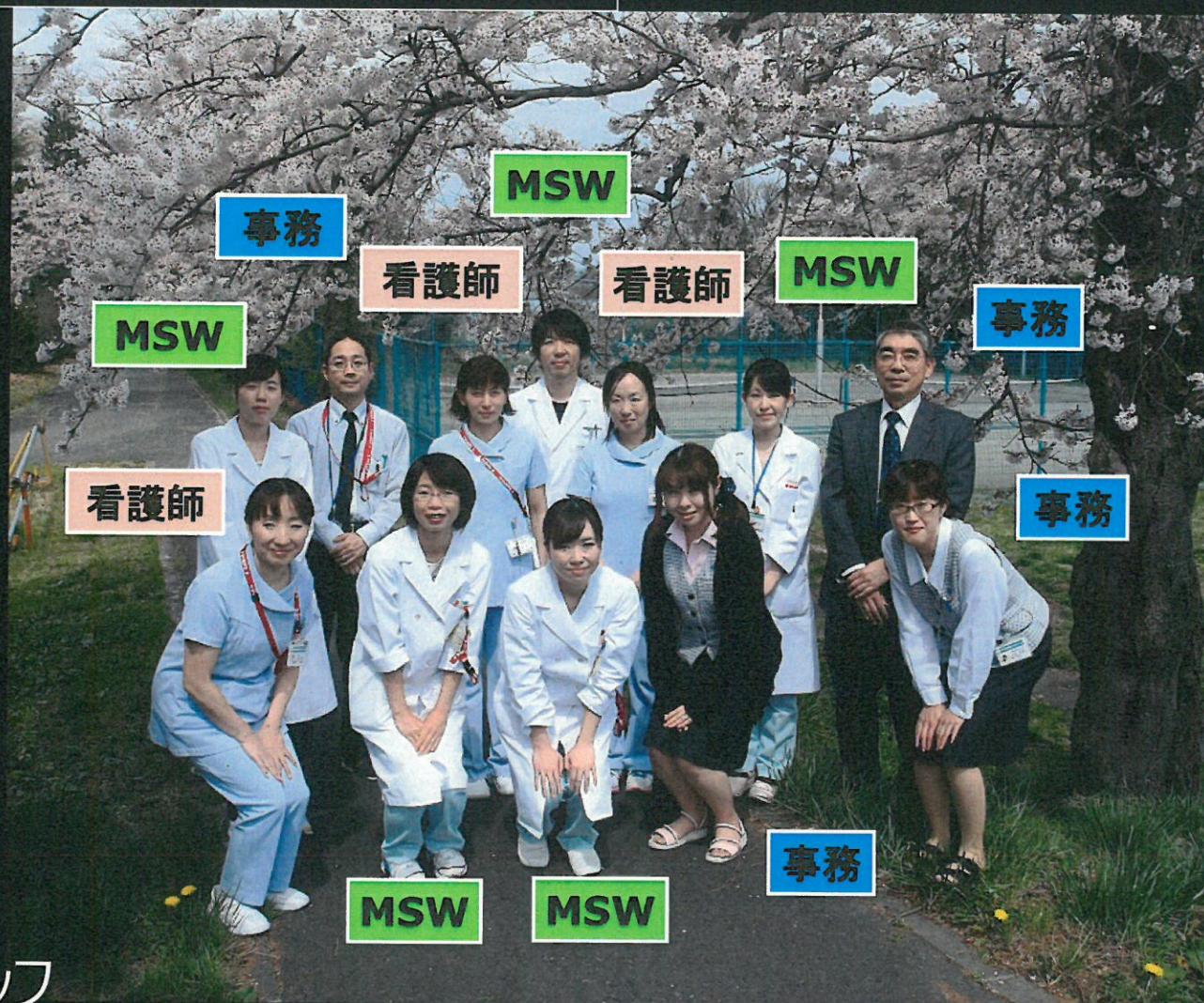


↑ 2014年12月 地域医療支援病院認定

* 施設基準：紹介率**65%**以上、逆紹介率**40%**以上



地域医療連携福祉室



◆スタッフ

医師**2**人、MSW**5**人、事務**4**人、
看護師**3**人、二チイ学館**4**人



かかりつけ医との症例検討会

平成27年4月から開始

かかりつけ医から紹介された患者の治療についてのカンファレンス

当院の担当医師がプレゼンテーションした後、意見交換

開催日	内容	院外 出席者	院内 出席者	計	備考
平成30年4月26日	紹介患者に係る症例検討(3症例)	2	8	10	
平成30年5月31日	紹介患者に係る症例検討(5症例)	4	25	29	医師会参加 木村外科内科クリニック、今野脳神経 外科内科医院、関谷医院、千田内科ク リニック、千田整形外科クリニック、江 刺病院、まごころ病院、奥州保健所
平成30年6月28日	紹介患者に係る症例検討(3症例)	1	7	8	
平成30年7月26日	紹介患者に係る症例検討(2症例)	3	16	19	
平成30年8月30日	紹介患者に係る症例検討(3症例)	3	14	17	
平成30年9月27日	紹介患者に係る症例検討(4症例)	6	20	26	
平成30年10月25日	紹介患者に係る症例検討(2症例)	2	10	12	
平成30年11月29日	紹介患者に係る症例検討(2症例)	1	8	9	
平成31年1月31日	紹介患者に係る症例検討(5症例)	3	13	16	
平成31年2月28日	紹介患者に係る症例検討(2症例)	3	14	17	
合 計		28	135	163	



平成30年度 住民向け『健康講演会』 開催実績

No	申込団体・グループ名	講演メニュー・講師	開催日	参加人数	
1	常盤地区振興協議会 会長 遠藤 清逸	13 乳がんについて 乳腺外科長 楠田 和幸	H30.6.8		40人
		男性 2人 女性 38人			
2	常盤地区振興協議会 会長 遠藤 清逸	10 高血圧・糖尿病・脂質異常 臨床検査科長 野崎 哲司	H30.6.29		31人
		男性 5人 女性 26人			
3	若柳地区振興会 亀井 欣一	16 脳卒中の治療全般に関して 脳神経外科長 菊池 登志雄	H30.7.3		25人
		男性 10人 女性 15人			
4	常盤地区振興協議会 会長 遠藤 清逸	34 糖尿病(運動療法)について 理学療法士 関口 康博	H30.7.10		26人
		男性 3人 女性 23人			
5	水沢地区センター 所長 古玉 庸一	10 高血圧・糖尿病・脂質異常 臨床検査科長 野崎 哲司	H30.7.20		40人
		男性 18人 女性 22人			
6	広瀬振興会 広瀬地区センター センター長 千葉 繁	28 おくすりの正しい飲み方について 薬剤科長 奥 尚	H30.7.25		10人
		男性 4人 女性 6人			
7	広瀬振興会 広瀬地区センター センター長 千葉 繁	32 バランス食について 栄養管理科長 名久井 美佐子	H30.8.22		7人
		男性 3人 女性 4人			
8	広瀬振興会 広瀬地区センター センター長 千葉 繁	34 糖尿病(運動療法)について 理学療法士 関口 康博	H30.10.24		10人
		男性 3人 女性 7人			
9	県立胆沢病院ボランティアの会 代表 青木 あけみ	認知症のキホン 認知症看護認定看護師 及川 聡美	H31.3.1		21人
		男性 0人 女性 21人			
計					210人
				男性 48人 女性 162人	

出前講座

参加人数 計210名



健康講演会

No	講演内容・講師	開催日	参加人数
1	がん治療について(手術・放射線治療・化学療法)(医療情報コーナーイベント) 鈴木 雄 副院長、中村 正人 副院長、村上 正美 主査薬剤師	H30.5.22	54人
計			54人



参加人数 54名

【地域医療従事者の資質の向上を図るための研修】 平成30年度

1 奥州地区感染防止対策地域連携合同カンファランス 4回

2 岩手緩和ケアテレカンファランス 11回

3 褥瘡勉強会 4回

4 奥州地区医療連携研究会(地域連携パス) 3回

5 奥州地域吸入療法研究会 1回

開催日	内容	院内 出席者 数	計
1 奥州地区感染防止対策地域連携合同カンファランス(感染対策)			
H30年6月5日	田沢病院内ラウンド・ラウンドについての意見交換 奥州病院より情報提供	5 3	37
H30年9月4日	奥州病院ラウンド・ラウンドについての意見交換 田沢病院より情報提供	32 4	36
H30年11月6日	まごころ病院ラウンド・ラウンドについての意見交換 田沢病院より情報提供	36 4	40
H31年2月6日	奥州病院ラウンド・ラウンドについての意見交換 今年度の各施設取り組み報告	36 4	40
2 岩手緩和ケアテレカンファランス			
H30年4月16日	胃癌の強い寛息患者への関わりを振り返る	0 9	9
H30年5月21日	自宅療養を希望された患者を地域で支える	0 4	4
H30年6月18日	外来通院を拒否し、孤立したがん患者さんとの関わり	0 6	6
H30年7月9日	働き方に向けて自分にできること 食べることと働くこと	1 6	7
H30年9月10日	本人と家族の思いのずれにスタッフがやまもした事例	0 5	5
H30年10月15日	せん妄を伴う患者の家族が点滴や身体拘束の用意を拒み続けた症例―認知症がん患者とその家族への関わり―	0 6	6
H30年12月19日	知的障害のある要介護者への関わり―在宅療養への関わり―	0 7	7
H30年12月17日	訪問診療を利用せずに在宅療養で在宅療養した事例	0 5	5
平成31年1月21日	他院での治療を継続しながら、入退院を繰り返す患者への関わりを振り返る	0 8	8
平成31年2月18日	病状悪化を繰り返す患者の在宅療養の関わり	0 3	37
平成31年3月18日	家族が未告知、未治療を希望された患者への関わり	1 8	9
3 褥瘡勉強会			
平成30年6月22日	褥瘡ケアⅠ 創傷のメカニズム	28 4	69
平成30年7月20日	褥瘡ケアⅡ 褥瘡と緩和ケア 系列	16 2	45
平成30年9月25日	褥瘡ケアⅢ 褥瘡と社会福祉・リハビリ	15 3	38
平成30年10月19日	褥瘡ケアⅣ 褥瘡と栄養、臨床検査検査	18 6	44
平成30年12月23日	褥瘡症例検討会	8 4	12
4 奥州地区医療連携研究会(地域連携パス)			
平成30年6月27日	大崎幸雄医師: 脳梗塞地域連携パスの運用状況及びフィードバック分析、連携医療機関からの症例検討報告、当院認知症ケアチーム専任看護師からミニレクチャー「入院中の認知症高齢者の特徴と看護、チームの役割」など	38 6	64
平成30年10月24日	大崎幸雄医師: 脳梗塞地域連携パスの運用状況及びフィードバック分析、連携医療機関からの症例検討報告、当院医療安全看護専門員からミニレクチャー「医療安全対策」など	33 3	56
平成31年2月27日	大崎幸雄医師: 脳梗塞地域連携パスの運用状況及びフィードバック分析、連携医療機関からの症例検討報告、当院主任看護師からミニレクチャー「脳卒中のリハビリテーションについて」など	34 2	54
5 奥州地域吸入療法研究会			
平成31年2月20日	吸入療法における医療連携に関する説明会	32 1	45
合 計		333 5	653



院外出席者数 計333名

奥州市歯科医師会との連携

◆NST

Nutrition Support Team

入院患者に最良の栄養療法を提供するため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士など職種を越えて構成された医療チーム

◆医科歯科連携

術前、抗癌剤治療前の歯科紹介／診察・治療

NST回診



当医療圏の課題

小児/周産期医療

医療資源の選択と集中 集約化

診療所(医師会)、病院(私立・市立・県立)、福祉、
介護、歯科、薬科、行政、訪問看護などの役割分担
/連携が必須

奥州市と金ヶ崎町とで、一つの2次医療圏
両者一緒に、素晴らしい地域医療計画を是非作って
いただきたい



地域医療基本法の実現

- 地域毎の医師数の定数化
- 国が管理
 - … 民意と政治の力が必要



胆沢の文化、胆沢の心

患者を選ばない

救急は断らない

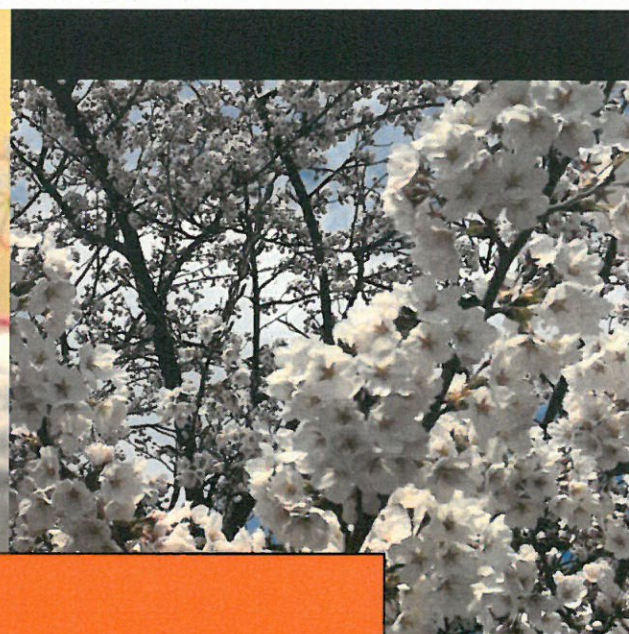
困っている人は何とかしてあげる、

安心させてあげる

後輩を教育する etc

・・・*Hidden Curriculum*





横のつながりの良い
垣根がとても低い病院です

ご意見/要望をお待ちしております



病院の基本理念①

【基本理念】

愛をもって地域住民の命と健康を守る

【行動指針】

協働医療、患者参加型のチーム医療

患者さん中心

連携と機能分担

人材育成



病院の基本理念②

【病院運営方針】

- ・救急・急性期医療
- ・がん医療
- ・地域医療支援
- ・災害医療
- ・臨床研修・スタッフ教育

上記5項目の実践・充実のために、**誇り**を持てる職場作りと**健全な病院経営**に努めます

